

愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録（概要）

会 議 名	令和7年度 第2回愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	令和8年3月18日（水）午後2時00分から午後3時50分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館 3階 災害対策本部兼会議室1・2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	—
協 議 事 項 等	1. あいさつ 2. 附議事項 （1）愛西市地域公共交通活性化協議会の設置について （2）巡回バスの利用促進について 3. その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	・ 次第 ・ 愛西市巡回バス運行検討委員会委員名簿 ・ 資料1 愛西市地域公共交通活性化協議会の設置について ・ 資料2 巡回バスの利用促進について ・ 資料3 市内移動サービスの令和6年度実績について
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	福田 道雄	八開地区
副委員長	水野 壽里	佐屋地区
委 員	小林 啓克	佐屋地区
〃	岡本 郁恵	佐屋地区
〃	白木 眞一	佐屋地区
〃	堀田 宗一	立田地区
〃	横井 研二	八開地区
〃	鷺野 聡明	八開地区
〃	松永 恵美子	佐織地区
〃	竹田 修	佐織地区
〃	井戸田 憲二	佐織地区

事務局

氏 名	氏 名
伊藤 靖幸	水野 重仁
今田 茉里	横井 優子

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	皆様、こんにちは。 ただ今から、令和7年度第2回愛西市巡回バス運行検討委員会を始めさせていただきます。 当委員会は、『愛西市の審議会等の会議公開に関する要綱』の規定により、公開の会議となります。 会議開催の30分前から10分前まで傍聴人の受付をしました結果、本日の傍聴人はありませんでした。 （配布資料の確認） では、お手元の資料、次第1．あいさつ 福田委員長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	皆様ご出席ありがとうございます。本日は第2回愛西市巡回バス運行検討委員会ということで、附議事項にもありますが、実は先週3月12日に愛西市地域公共交通活性化協議会が設置されました。活性化協議会では、愛西市全体の交通計画等をこれから2年間で定めていくということですが、その中には当然、巡回バスのあり方や、運行状況についても検討されていきます。 当巡回バス運行検討委員会の中で、巡回バスの運行に関わる部分について皆さんにまとめていただいて、その内容については、私と水野副委員長、それから地域の代表として委員の中からお二人選任されているんですけども、その方たちも含めて活性化協議会の方に意見反映をさせていただく。それから活性化協議会の方で決められた事項や確認された事項については、逆に私や事務局の方からこちらの会議に情報を提供し、皆様と情報を共有していくような形になります。 また附議事項の中で説明があると思いますが、巡回バスを取りまく検討内容が非常に変わってきたということも踏まえて、今回の会議の開催になったと思いますので、皆様ご協力よろしくお願ひしたいと思います。
事務局	ありがとうございました。 これ以降、本日の会議の取り回しにつきましては委員長の方でよろしくお願いします。
委員長	それでは、次第2「附議事項」に移ります。 （1）愛西市地域公共交通活性化協議会の設置について、事務局より説明願ひます。
事務局	＜（1）説明＞
委員長	ありがとうございました。非常に大きな枠組みの話ですので、初めて見られた方は分からない部分もあると思います。質問等あればお聞きしたいと思

	います。
委員	交通事業者の方は、愛西市だけでなく、例えば津島市や弥富市等の近隣の事業者も入っていますか。
事務局	入っています。協議会には、名古屋鉄道・愛知県バス協会・タクシー事業者・巡回バス運行事業者・津島市、弥富市の担当課長・愛知県の関係行政機関の職員等にご参加いただいています。
委員	ありがとうございます。
委員長	他にご質問はありますか。
委員	今後の取り組み予定の中で、令和８年度から９年度にかけて計画作成とありますが、事業の実施等はそれ以降になるということですか。
事務局	令和８年度は主に調査の年となり、アンケートや運行事業者への聞き取り等を１年間で実施し、計画の骨子案を作るところまでが令和８年度の目標となります。令和９年度に計画を策定し、その計画に沿って令和１０年度から事業を実施していくこととなります。その間は、巡回バスのことについては巡回バス運行検討委員会で検討を進めていく予定ですが、それ以外の公共交通のことについては、計画策定後に検討していくことになると思います。
委員	巡回バス以外のこととなると、今弥富市で行っているような事業も含めて考えているということですか。
事務局	現在の巡回バスは無償のため、市の決定で事業を実施しておりますが、有償バス等の事業を実施していく場合は、運輸局の許可などを進めていく必要があるので、令和１０年度以降のことになると思います。
委員長	活性化協議会の中で計画を作るには、コンサル等を使うためお金が必要となりますが、幸い活性化協議会による交通計画の策定には国からの補助金が出るため、それも非常に魅力的だと個人的に思います。 他にご質問はありますか。
委員	こういった協議会は、近隣の他の自治体にもありますか。
事務局	「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」と「道路運送法」の二つの法律に基づいて設置された活性化協議会は、弥富市と飛島村にあります。 津島市、あま市、稲沢市、蟹江町は計画を作るための協議会は設置していない状況です。

委員長	少し難しいと思いますが、青ナンバーで、有料で走っている自治体のバスがあるところは全て法定協議会があります。法定協議会は全てあるんだけど、そこにプラスして市の交通計画を作りたいところは、活性化再生法の会議も合わさっているということです。
事務局	そういった協議会を「二法協議会」と言って、計画までは作らずに有償運送だけやっていると、計画も作って有償運送もやっていると分かれています。愛西市はこれまでどちらもなく、無償の巡回バスを実施している状況でした。今回、愛西市は計画を作成するために「二法協議会」を設置したということです。
委員長	他に質問はありますか。
委員	今の巡回バスは栄進物流が白ナンバーでやっていますが、これがお金を取るようになると、他の会社に交替になる可能性もありますか。
事務局	巡回バスを有償にするか無償にするかということもこれから議論の対象になってくるので、それによっては今やっていると違うところではない事業者になる可能性もあります。
委員	有料の巡回バスと、社会福祉協議会等がやっているような無料の短距離移動支援を実施するという可能性もありますね。
事務局	愛西市の中で実施している地域公共交通全体の計画になるため、それぞれ別で実施していた事業が一つに集約される可能性もあり、何が残るかは未定な部分があります。
委員長	今のようなご質問は、皆さんで共有すべき課題だと思うので、ぜひこの会議の場でご質問やご意見をさせていただきたいと思います。 他にご質問はありますか。
委員	巡回バスの運転手はどちらに委託しているのでしょうか。
事務局	現在委託しているのは栄進物流です。
委員長	先ほどと話が一緒になりますが、この海部地区で地域公共交通会議がないのは愛西市と、無償のバスを走らせている蟹江町、大治町です。逆に言うと、それ以外は青ナンバーのバスを有償で走らせているので、どこの自治体も地域公共交通会議があります。そういう状況ですから、やっと愛西市も他の自治体と同じような取り組みに追いついたということかもしれません。

委員	江南市はデマンドタクシーを一部走らせていますが、コミュニティバスは走っていません。しかし、地域公共交通会議を設置しており、そこでバスを走らせるかどうかを協議しているということです。
委員長	同じ話ですが、地域公共交通会議がないとデマンドタクシーを実施することはできないということですね。
委員	タクシーということは、当然営業ですね。
委員長	乗り合いというのが条件ですが。
委員	先ほど補助金の話がありましたが、計画を作成するための補助金が出るということか、それ以降の実際に実施する事業に対しての補助金も出るのか、教えてください。
事務局	様々な補助金がありますが、今回は、来年度の計画策定のための補助金を活性化協議会の名称で申請しています。今後、実施していく事業が決まっていけば、それに合わせた補助金を調べて使っていくことになると思います。
委員長	私の認識では、青ナンバーの運行に関しては、地域公共交通の活性化という意味での補助メニューがどこの県にもあります。その運用状況までは分かりませんが。あまり期待しすぎてもいけませんが、有償運行になれば県からの単独補助の可能性も十分にあると思います。
事務局	県や国にある様々な補助金を調べて、活用していきたいと思います。
委員長	現行は、白ナンバーで自治体独自の事業のため費用はすべて自前ですからね。
委員	今はどこの自治体も財政が厳しいですが、バスを全く使っていない人からすれば、そこに税金が使われているということもあるので、無償よりも有償にすべきだという意見があります。
事務局	令和5年度に実施した巡回バス利用者アンケートでは、「有償でもいいから便利にしてほしい」という意見もありましたが、「無償で嬉しい」という意見もありました。今後改めて、市民の方の意見をアンケート等により調査していくことになると思います。
委員長	様々な考え方があると思いますが、現行の巡回バスの利用目的が、例えば福祉施設の入浴・集会という場合もあるため、有料という部分は十分に検討

	していきますが、高齢者の移動の確保というのも重要な課題なので、高齢者には無料のパスを配付する等、有料化した場合は支援策も併せて考えていく必要があると思います。
事務局	近隣で有償のバスを実施している市町村でも、高齢者の方へバスが無償になる券やタクシーチケットを配付する等、様々な方法をとっています。愛西市がいざ有償化となった時に、この年齢層は無償のパスがありますという風にすると、収入部分はあまり期待できない可能性はありますが、そのあたりのバランスや、利用層等についても今後議論の対象になっていくと思います。
委員	木曽岬町ですと、一般は 200 円で高校生以下は 100 円、65 歳以上の方や障害者の方が 100 円、未就学児は無料となっていて、弥富市も有償でほしい 200 円だったと思います。
事務局	金額については、近隣の状況や実施するサービスに合わせた額を検討する場が今後できると思います。
委員	例えば津島市、弥富市、木曽岬町などの近隣自治体とはほしい同じ金額にした方がいいと私は思います。ただ、今まで無料だったものが 200 円だと差が大きすぎるかもしれませんが。
事務局	有償で運行している市町村にも「愛西市は無料なのに、なぜお金がかかるのか。」という意見があるようで、難しい部分です。
委員長	他にご質問はありますか。 私の方から、活性化協議会と巡回バス運行検討委員会の位置付けについて再度確認したいのですが、公共交通全体については活性化協議会で検討し、その中の 1 つのテーマである巡回バスについては、こちらの巡回バス運行検討委員会で検討していきます。そして、お互いの成果物をキャッチボールする必要があると思っていて、活性化協議会の決定事項を巡回バス運行検討委員会に落としてもらい、逆に巡回バス運行検討委員会の検討状況を活性化協議会の方にぶつけていく必要があると思いますので、そのあたりは事務局や、必要であれば私の方から説明させてもらってもいいですし、それぞれの会議で情報交換をして、連携していく形で進めていきたいと思っています。
事務局	それぞれの会議の検討状況について共有しながら、情報の抜けがないように進めていきたいと思っています。
委員長	他にご意見はありますか。

委員	先日、愛西市内を走っている海津市のバスを見ましたが、途中で乗ることができたら便利だと思いました。これは活性化協議会への意見になるかもしれませんが、そういった相互乗り入れ、例えば弥富駅等に愛西市のバスも乗り入れできれば便利だと思います。津島市や弥富市からすると、愛西市へ乗り入れるメリットが少ないという意見も聞きますが。
事務局	活性化協議会を設置する前から、乗り入れの要望があった場合は市で許可をしており、現在、勝幡駅や永和駅に他市のバスが乗り入れています。今後は、活性化協議会の方で検討されていく内容になると思いますが、他市の住民の方からの「愛西市に行きたい」という意見がないと難しい部分もあると思います。 また、先日開催した活性化協議会に運輸局の方もご出席いただきまして、県としては、本来は他市も含めた形で連携しながら計画を作っていくことが望ましいという意見をいただきました。今後の方向性についてはこれから決めていくところですが、近隣市町村を巻き込んだ計画策定という部分も活性化協議会の方で検討していく形になると思います。
委員	愛西市には名鉄、近鉄、ＪＲと様々な路線の駅がありますし、相互乗り入れが進むと便利だと思います。
事務局	愛西市にも活性化協議会が設置されたため、今後他市とも様々な検討を進めていきたいと思っています。
委員長	巡回バス運行検討委員会では、他の自治体のバスについて議論することはできませんが、愛西市の巡回バスについて、例えば巡回バスの停留所を増やす等の提案をすることはできます。ただ、巡回バス運行検討委員会だけで決定することはできないため、活性化協議会で計画に入れてもらう等になっていくと思います。元々、巡回バス運行検討委員会は、要望事項を提言書としてまとめ、市長に提言するという会議ですので、今後も前向きな提案をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。 それでは、(2) 巡回バスの利用促進について、事務局よりご説明願います。
事務局	《 (2) 説明 》
委員長	ありがとうございました。ご質問やご意見はありますか。
委員	地域からの要望で、佐屋西ルートについて海南病院まで通してほしい、利用料金が発生してもいいので本数を増やしてほしい、西保団地の中に停留所を作してほしい、という意見がありました。
委員長	ありがとうございます。年度途中のためまだ年間の数字は出ていませんが、

	令和7年4月のダイヤ改正の目玉でもあった、朝夕の庁舎間バスは利用実績があまりなかったという印象です。時間や本数の問題もあるとは思いますが。限られた時間と便数の中で、アンケート結果を元に新しい便を作りましたが、数字としてはあまり増えなかったという認識です。新設バス停については、利用していただいているようで、よかったと思います。
委員	佐屋西ルートの利用者の方から、午前中にあと1便あるともっと便利だという意見を聞きました。すべてのルートに影響があるため、簡単に1便増やすということは難しいとは思いますが、そういう意見がありました。
委員長	本数の問題ということですね。
委員	先ほどの、佐屋西ルートを海南病院まで延長してほしいという話ですが、佐織ルートの中に津島市民病院が入っているような形に近くなりますね。
委員	今、市役所から海南病院は直通ですが、佐屋駅など多くのルートが通っているバス停で乗り換えて、佐屋西ルートで海南病院まで行ければもっと乗車数が増えると思います。時間やルートのうまくだできればですが、検討していただきたいと思います。
委員長	この場で決定できることではないですが、そういった要望を取りまとめて最終的に行政の方で検討してほしいと思います。
委員	先日別の会議に出席した際に、多く話題にあがったのは高齢者移動支援についてです。移動手段がない高齢者は家に引きこもってしまうことになるため、高齢者の要望を聞くことも非常に重要ですが、若い方に理解してもらうことも必要だと思います。愛西市には中央図書館があるため、例えば、夏休み等の期間を利用して、小中学生を対象に「巡回バスに乗って親子で図書館に行こう」というキャンペーンを実施したり、前回も意見としてありましたが、あいさいさんまつりで会場間をピストン運行して巡回バスが走っていることをPRしていくなど、バスが走っていることは知っていても実際に乗るところまで繋がっていない人が多いと思いますので、いかに利用者を増やすかということが大きな課題だと思います。
委員長	利用者数の話が出ましたが、資料に記載されているのは4月から12月までの数字になりますが、立田ルート以外は利用者が増加しています。バス停の新設という理由以上に増加していると思いますので、増加理由について分析していけば、利用促進策の検討に繋がるとと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	12月時点で約7,000人増加していますので、また年度末までの集計が終わ

	りましたら、次の会議でご報告いたします。
委員長	立田・八開ルートは、庁舎間便を作った影響で1日6便から5便になりました。6便から5便に減ったにも関わらず、八開ルートは利用人数が増加しています。そういったところの理由を分析して、さらなる利用促進に繋げてほしいと思います。よろしくお願いします。
委員	今日、たまたま巡回バスを利用して老人福祉センターへ行きましたが、行きも帰りも買い物や通院などのリピーターの方が増えたように思います。
事務局	リピーターの確保もですが、初めての方にとってどうやって乗っていただくかが課題だと思っています。新しい時刻表の表紙にご利用案内を記載していますが、これだけではまだ最初のきっかけに足りない部分もあると思っていますので、そういった部分の利用促進策についてもご意見をいただければと思います。
委員	時刻表について、文字が小さいためイラスト等で記載した方が良いと思います。長い文章だと理解しにくいので。
委員	バス停をもっと目立つようにして、様々な情報を掲載してみるのもいいと思います。バス停のデザインも可愛いものにしてみるなど。
事務局	バス停は定期的に新しいものにしていますが、デザインを変更したことはないため、目立つデザインに変更するというのも一つの手だと思います。
委員	先日、初めてバスを利用してみましたが、利用者がほとんどいない時間帯でバス停を通過することがあり、時刻表よりも早く進んでしまったら乗れない利用者もいるのではないかと思います。
委員長	ルールとして、バスが時刻表よりも早い時間に出発することはありません。遅延している際に、利用者がいないバス停を通過して時間通りに戻るということはあると思います。
委員	バス停に早く着いた場合は、時刻表の時間まで待機してから出発するようになっていますか。
事務局	バス停に早く着いた場合は、時刻表の時間まで待機することになっています。また、ルート全体の中で、広い駐車場がある場所で時間調整のために待機するポイントを何箇所か決めていて、基本的には早く着くことのないように調整してもらっています。

委員	市役所のバス停は近くにベンチがありますが、他のバス停でベンチが設置してあるところはありますか。
事務局	公共施設や、地元の方が有志で設置してくださっているバス停はありますが、市として管理しているものはありません。管理の問題もありますが、ベンチや屋根があった方が便利だと思います。
委員	一人でバスに乗るのが心配だという高齢者の方から相談を受けて、一緒に乗ってあげたという事例を聞いたことがあります。ボランティアの方が付き添ってあげるという制度になってしまうとは思いますが、そういったフォローも必要かと思います。また、運転手さんは本当に親切で「ゆっくり乗ってください」と声かけをしてくれています。
委員	手押し車を使用している方については、どのようにしているのでしょうか。
事務局	折りたたんだりして、自分で乗せることができるものであれば、一緒に乗せることは可能です。
委員	そうすると、やはり自分で持ち上げることができない場合は補助者が必要な場合もありますね。
事務局	保険の関係もあるため難しいですが、そういった制度があると乗りやすくなると思います。
委員長	共有する課題が見えてきて、市として解決する方策が出てくる可能性もありますので、検討していただくようお願いします。 他にご意見はありますか。
委員	地域からの要望として、家がバス停とバス停の間にある場合、ルートは変更せずに、途中で降ろしてもらえないかという意見がありました。
委員長	フリー乗降と言いますが、交通量が少なく安全面が確保できる路線であれば可能性があると思います。特に八開・立田地区は指定区間においてはそういう可能性を広げていくことも重要なことだと思っています。
事務局	街中では安全面から難しいと思いますが、バス以外の交通手段、デマンド交通などができた時に、そういった部分もカバーできる可能性はあると思います。
委員長	以前そういったことを提案したこともありますが、運転手の負担が増えるということで成案にはなりませんでした。他の自治体でも、フリー乗降を導

	入しているところは多くあります。また、例えば地域公共交通会議には警察や道路管理者も出席しており、フリー乗降を検討する際の関係者がそろっていますので合意形成が可能です。巡回バス運行検討委員会では合意まで取れないため、あくまで提案をまとめるという形になります。
委員	知人の外国人が市役所へ行きたいということだったので、日比野駅から市役所まで巡回バスに乗ることをすすめました。しかし、日比野駅でバス停の場所が分からなかったり、日本語を読むことができないためバス停に書いてあることが分からなかったりということがあったようでした。スマートフォン等を利用してバス停に書いてあることを翻訳できるような手段があるといいと思います。
事務局	現在、ホームページに掲載されている時刻表は画像の状態のため、文字データとして翻訳できないことは課題だと思っています。
委員	資料2乗降者数の変動状況の部分で、減少している立田北部コミュニティについて、立田ルート八開ルートで乗り換えをしていると思いますが、乗り換えた人がどこで降りているかということは分かりますか。
事務局	現在は、乗った人数と降りた人数の調査のみで、追跡調査は実施していませんが、運転手に聞き取りを行えばある程度の傾向は把握できると思います。また、今後活性化協議会にて追跡調査を実施する可能性があります。
委員	津島市のマックスバリュの前にバス停を作ることはできませんか。
事務局	津島市内であり、現在津島市内には津島市民病院しか乗り入れを行っていませんが、そういった要望は以前から聞いています。
委員長	今の要望事項についても、活性化協議会で検討することもあるかもしれませんが、事務局の方でも検討していただくようお願いします。 それでは、次第3.その他について、事務局より説明願います。
事務局	《次第3 説明》
委員長	ありがとうございました。ご質問はありますか。
委員	可能であれば担当者から直接事業の説明をしてもらう機会があるとありがたいです。
事務局	次回の会議で調整ができれば、担当者の説明の場を設けたいと思います。

委員長	他にご意見はよろしいでしょうか。 事務局から何かあればお願いします。
事務局	【次回開催日程等のお知らせ】
委員長	これを持ちまして委員会を終了いたします。ありがとうございました。